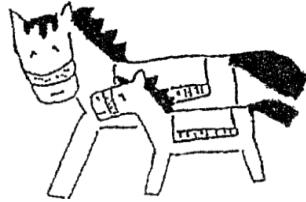


♪  
お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポックリ、ポックリと

23年 6月 NO. 199



(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857  
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～		<b>6月の主な活動</b>		～お気軽にどうぞ～
6月 9日	木	歯や口腔内相談 12:00～12:30	歯科園医師（湖崎先生）に ゆっくり相談できます。（予約要）	
6月 11日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って みんなであそびましょう。	
6月 24日	金	おはなしの会 10:00～12:00	毎月季節に合ったおはなしや出しもので 楽しいひとときをどうぞ。	
6月 25日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も育児体験においで下さい。	
6月 25日	土	おもちゃをつかってあそぼう （偶数月の土曜日で年6回） 14:00～16:00	今月はおもちゃゲームを作ってあそび ますので、どなたでもおいで下さい。	
6月 28日	火	健康・育児相談 11:00～12:00	小児科園医師にゆっくり 相談できます。（予約要）	
6月 29日	水	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	勝法寺副住職が仏事について話をし、 フリートークします。	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)</li> <li>・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放しますので、親子でご来園下さい。 (但し、月・日曜・祭日は休み)</li> </ul>	<p><b>育児相談（月～土）9:00～18:00</b> しつけや子育てについての悩み、 保育園生活、入園・見学について の相談もどうぞ。</p>
--	--

金子みすゞ  
童話全集5  
さみしい王女・上より

思い出しては泣いじやくる、  
そのたびに、  
橙の、花のにおいがして来ます。

壁のなか、  
倉のなか、  
誰かの笑う声がして、

壁の穴から  
つづいてる、  
蟻をみるのも飽きました。

すいつからか、  
すねてるに、  
誰も探してくれず、

泣いたじやくり  
すのたのにおいがして来ます。

橙の花



少子化で、少ない孫をとりまく祖父・祖母の関係も色々です。今月は孫に対する思いとイクメンジイジの活躍などをご紹介します。

孫のいない現役世代に「リタイア後の生きがい」を想像してもらったところ、「孫」を選んだ人は1割（複数回答）と少数派。ところが、実際に孫がいるリタイヤ世代では、半数近く（同）が「孫が生きがい」と答えました。できてわかるのが孫のかわいさ。そのかわり方は？



滋賀の元会社員、Tさん(71)は、仕事で帰りが遅い息子夫婦の代わりに毎日、孫3人の夕食を作り、夜は受験を控えた中3の孫娘に2時間も勉強を教えています。リタイア後に外国人向けの観光ボランティアをしていたので英語は得意ですが、数学の方は自分用の参考書を買って昼間にこっそり予習しています。「現役時代は帰宅が遅く、子育てに参加できなかったのですが、今はいくらでも時間があります」

Tさんのように、たっぷりある自由な時間を利用して、イクメン（育児に積極的な男性）がジイジの世界にも広がっています。アンケートでは、孫がいる男性の3人に1人が「両親が忙しい時の育児サポート役」をしていると答えているのです。

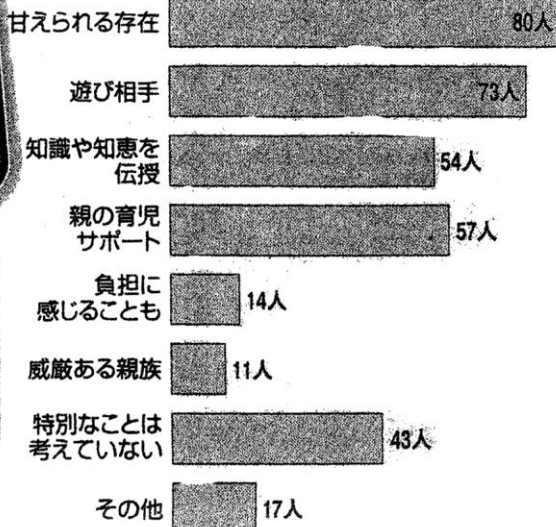
「遠距離イクメンジイジ」と言えるのは大阪の元公務員、Nさん(65)。2歳の孫の世話をするため、東京の娘夫婦の家に毎月10日間通っています。元々、孫の遠距離育児は妻がしていたのですが、「疲れたので交代でやって」と言われたのがきっかけでした。料理作りや保育園のお迎えをし、東京タワーや水族館にも連れて行きました。孫がかわいいのはもちろんですが、「娘は大学講師で博士号を取るための勉強もしている。夢をかなえる応援をしたい」と、娘のためでもあるのです。

経済面で育児サポートをしている人もいます。一見、甘いジイジ、バアバのようですが、それぞれに思いがあるのです。

神奈川の元会社員、Sさん(74)夫婦は週2、3回東京の3人の孫に小包を送ります。妻が作る襟巻きや体操着袋、料理などをぎっしりと詰めます。「私たちが新婚の頃、妻の母親が田舎から野菜や果物を送ってくれた。安月給だったので助かった。そのまねをしているのです」。孫たちも将来、自分たちをまねるかもしれない、生きた教育になるかもしれないと思っているそうです。

兵庫の70代の男性は、家計に余裕がない娘夫婦を助けて2人の孫娘に金銭援助をしています。今年は上の孫娘の結婚式に50万円、下の孫娘の入院費に30万円を出しました。大学卒業までは毎月5千円ずつお小遣いも渡していました。男性は父親が戦死し、母のわずかな稼ぎで育ちました。画用紙が買えなかったので学校で絵を提出できず、先生から頭をたたかれたこともありました。孫にはお金で苦勞をさせたくないのです。

孫との関係は？



(回答人数153人、複数回答)



私の場合

- 甘えられる祖父から厳しい祖父に切り替わるタイミングと方法を思案中(60代 男性)
- 6人全員に公平にお祝いをするとかんがりの出費に(60代 女性)
- 高校生の女の子なので難しい年頃。こちらから声をかけにくい(60代 男性)
- 隣近所や友人の孫と比較してしまう。愚かなことだと自覚しているのだが…(60代 男性)
- 嫁に口出しは控えているが、本当は言いたい。ファミレスに連れて行き過ぎだ(60代 女性)

リタイヤ後、孫に与えるのは自由に使える時間やお金だけではありません。人生経験から得た知恵を伝えるのもその1つです。

母子家庭で育った愛知の元会社役員、Mさん(65)は、学歴をつけたいとガリ勉して成績はいつも1番。大企業で出世しましたが、そのために密告で人をけ落とし、法律すれすれのこともしたそうです。「そんなサラリーマンの世界がいやでした。本当は科学者や考古学者になりたかった。孫たちには視野を広げて夢を持ってほしい」。そう願ひ、社会、科学、文化など多彩な話題を載せた子ども向け雑誌を送っています。

奈良の元高校教師、Dさん(73)は、口には出しませんが、「孫たちといっしょに離島で暮らし、生きる上で大切なことを伝えたい。友達のように語りたい」という夢を持っているそうです。

みなさんの孫への思いには圧倒されます。一方で、こんなご意見にも耳を傾けておきましょう。

富山の女性(61)は、娘が乳幼児2人を子育て中。時々、サポートに行きますが、育児にはかかわらず、家事の手伝いに徹しています。若い頃、職場の同僚から、「母に育児を任せていたら、子どもが私になつかなくなった」と相談されたことが心に残っているからです。「私も一度娘にいやがられた。孫は私の子ではないと心得ておきたい」。孫とどうかかわるかを親と相談・合意しておくのが、ポイントかもしれません。



## 祖父母向け育孫教室

祖父母にとって、孫の誕生と成長は大きな喜び。“昔取ったきねづか”を思い出しながら、つつい育児に手も口も出したくなるもの。しかし「昔は当たり前だった」という知識が医学的な知見の積み重ねなどによって現在は書き換えられていることもあるので注意が必要だ。

大分市に住む50代の女性は、長男の嫁が孫（乳児）の風呂上がりに母乳を飲ませていると知り、自分の経験も踏まえて「風呂上がりには、湯冷ましかお茶類の方が…」と伝えたことがある。

だがこれは昔の方法。今は、母乳で育てている場合には母乳を、ミルクで育てている場合には湯冷ましか、生後1カ月を過ぎたら薄い番茶、ほうじ茶を与えるよう指導するのが一般的になっている。

こうしたギャップを埋めようと、日本助産師会県支部は、2000年から主に祖父母を対象に「孫育て教室」を開催している。

母乳育児コンサルタントで大分県支部会員の助産師は、『ミルクで育てると、頭がよくなる』と言われたころもあったが、病気などの事情がない限り、母乳が一番です」と授乳に対する考え方の今昔を解説した。

### 昔とちがう子育て常識



昔		今
ミルクだと頭がよくなる	⇒	母乳が一番
抱っこしすぎると抱き癖がつく	⇒	「心の栄養」どんどんして
かみ碎いて食べ物を与える	⇒	虫歯予防でダメ

“抱っこ”についても『あまり抱っこすると、抱き癖がつくからよくない』と言う祖父母もいるが、赤ちゃんにとって抱っこは心の栄養。抱き癖は気にせず、どんどん抱っこしてあげましょう』と話した。

うまくかめない乳幼児のために食べ物を大人がかみ碎いて与えることも、大人の口腔内にある虫歯菌が子どもに感染することを防ぐという見地からは、避けたほうが良いとされる。厚着に関しては、「乳幼児は大人よりも体温が高いので厚着は避ける。靴下は屋内では滑って転ぶ恐れがあるので、履かせない」という。

孫かわいさに、祖父母はつつい、おやつやおもちゃを与えすぎてしまい、孫の親から煙たがられることもある。「育児の主役はその子の親。祖父母は側面から援助し、親の意見を尊重して見守るようにして。豊かな経験を生かして、孫に人間としての手本を見せるよう心掛けて」ともアドバイスした。

少子化の影響で自分の周りの赤ちゃんに接した経験がないまま妊娠・出産を迎える人が増えていることから、さまざまな悩みに対応する「赤ちゃん&おっばい電話相談」も受けている。

— 大分合同新聞・朝刊より —

香川県連絡先 (当園でも助産師による「孫育て講座」を9月に計画しています。)

すこやか助産師センター・ぼっこ助産院 高松市春日町1176番地

(社) 日本助産師会香川県支部 Tel 087-844-4131 (午前10時～午後4時)